

問 環境政策課 ☎0957-38-3111

雲仙市では、1人が1日に出すごみの量を**850グラム**まで減らすことを目標としています。

この目標達成のためには、一人ひとりが「ごみ問題」を意識し、環境に配慮した生活や行動をすることが求められます。市民の皆様のご協力を、よろしくお願い致します。

ごみを減らすための方法やごみ出しで多い間違いをご紹介します。

## ●減らさんば! 枝や草 干して乾かし 軽くしよう

庭の木のお手入れや、草むしりをされた際に出る枝や草を捨てる場合、切ってしまうものはまだ水分を多く含むため、重量がかさみ、それだけ処理にも費用がかかります。

しばらく日光に当てて乾燥させれば、水分が抜けて軽くなり、処理もしやすくなります。

**注意!)** 枝をごみステーションに出す場合は、ごみ袋に入る長さに切って、袋に入れて出す必要があります。**枝に袋を付けただけのものは収集できません。**

- 量が多い場合は他の方のごみのごみステーションに入らなくなり、カラスや猫に荒らされるおそれがあります。少しずつ分けて出すようにするか、直接西部リレーセンターへ持ち込みましょう。
- 西部リレーセンターへ持っていく場合は袋に入れる必要はありませんが、長さは50cm以内にしてください。料金は下表のとおりです。

ご家庭から西部リレーセンターに直接持っていく場合の料金

基本料金 (50kgまで)	190円+消費税
増分料金 (50kgを超える)	10kgごとに38円+消費税

50kgを超える場合は、干して軽くした方が料金が安くなる場合があります。

## ●分けんば! プラスチック 元は石油で 可燃ごみ

プラスチック製の洗面器やコップなどが、不燃ごみとして出されているケースが見られます。

これらはシャンプーや洗剤の容器などと同じく、元々は石油から作られたものですので、

**プラスチックだけでできているものは可燃ごみ**になります。

- 電化製品のように、プラスチック以外にも金属など不燃物が使われている場合

・プラスチック部分が  $\swarrow$  はずせる⇒プラスチックは可燃ごみ、それ以外は不燃ごみ  
 $\searrow$  はずせない⇒不燃ごみ



・プラスチック製品の中でも、このマークが付いているものは「**プラスチック製容器包装**」といってリサイクルが可能ですので、ストックハウス（南半山町は分け兵衛ハウス）へ出しましょう。

